

兵庫県防災気象情報

兵庫県では、県民の防災活動を支援するため、防災対策に役立つ気象観測情報を、「兵庫県防災気象情報」として、インターネットに掲載しており、注意報・警報、地震・津波情報、河川水位、アメダス、ポイント天気、週間天気予報などがご覧になれます。

土砂災害に備えて

「広報紙K O B E 防災特別号」に記載している土砂災害危険予想箇所図及び土砂災害に関する情報をご覧になれます。

台風などの災害に備えて、ふだんから家族みんなで確認しあい、早期の自主避難等に役立ててください。

洪水に備えて

大雨により河川のはん濫が近づいた場合、住民のみなさまが迅速かつ安全に避難し、自ら身を守っていただくよう作成した「洪水ハザードマップ」がご覧になれます。

災害に対して備えていますか？（非常持ち出し品・非常備蓄品）

いざというときにすぐに持ち出されるように、必要なものを準備しておきましょう。特に食品や飲料水の賞味期限は、まめにチェックし、賞味期限が迫ったものから順に入れ替えておきましょう。

河川モニタリングカメラシステム

神戸市内を流れる22河川のうち30ヶ所の川の流れる様子を、インターネットカメラで撮影し、河川の危険な増水の様子をパソコンでチェックすることができます。

<http://www17.plala.or.jp/kcamera/pc.html>

安全・安心情報の電子メールサービス（ひょうご防災ネット）

事前に登録を行うことで、風水害による避難指示や地震情報などの緊急情報を電子メールで知ることができます。

事前の登録がなくても、随時神戸市からの緊急情報などを閲覧できます。

※ソフトバンク3Gの一部機種については対応できておりません。

<http://bosai.net/>

レインマップこうべ250（降雨情報）

レーダー降雨情報システムを使った降雨情報を10分毎に提供。阪神間の広域情報から神戸市域を南部と北部に分けた詳細図まで4区分で提供しています。

その他にも降雨履歴や週間天気予報も掲載しています。



(3) 「安全安心」Q&A（個人の取り組み編）

Q1. こどもが助けを求めてきたらどうすればいいの？

A1. まず、「何があったの？」と優しく声をかけ、こどもの安全を確保します。

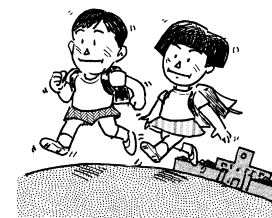
こどもに、いつ、どこで、何があったのか？また、不審者(犯人)の特徴（性別、年齢、服装、髪型、車両など）や逃走の有無（付近にまだいるか、どの方向に逃げたのか）など必要な事項について、落ち着いて聞きます。犯罪行為ならば、すぐに110番、けがをしていれば119番、そうでなければ保護者または学校に電話して、警官や保護者などが到着するまで子どもを保護します。

《出典：『防犯まちづくり（ぎょうせい）抜粋』》

Q2. 子どもが身を守るためにどうしたらいいですか？

A2. （1人にならない）

登下校時、なるべく1人にならない。エレベーターで1人の時、もし不審な人が入ってきたら、最寄りの階のボタンを押して止まったらすぐに逃げる。1人で留守番をする場合には、かかってきた電話に「母は今、手が話せないので後から電話をします。お名前と電話番号を教えてください」と言い、大人がいると思わせる。



（知らない人にはついていかない）

連れ去り事件でも、最初は親しげに声をかけてくる場合がほとんど。名札や持ち物の名前を見ていかにも知り合いのように声をかけてくるケースもあるが、とにかく知らない人にはついて行かない。やむを得ず話す場合は、両手の幅ほどの距離を保つ。車で追

われた場合は進行方向の逆に逃げる。

出かける時は帰宅時間を知らせてから

予定した帰宅時間に帰らない場合、まずおかしい、と気付く。事件に巻き込まれた場合も、迅速に対応することができる。

大声を出してとにかく逃げる

どんな声でもいいのでとにかく大声を出して逃げる。笛やブザーも効果的。

《出典：「被害者の親と呼ばれないために加害者の親と呼ばせないために(金の星社)」》